

② 自然教育園クサガメの産卵撮影記録

渡 邊 昭 廣*

Akiro Watanabe*

はじめに

自然教育園のひょうたん池，水生植物園の池，森の小道横の湿地，水鳥の沼にクサガメが多数生息しています。よく木の上で甲羅干しする姿が見られます。

また，入園者がカメに餌を与えるためか人なれし，人が近づくと寄ってくる光景が見られます。

2014年7月2日と8日にクサガメが武蔵野植物園で産卵する光景を撮影しましたので産卵の様子をまとめてみました。

クサガメは園路付近など比較的固い土を掘り産卵することが多く見られます。産卵時間帯は朝または夕方に多いのですが，今回は昼にも観察することができました。

産卵された卵はカラスやタヌキなどの天敵によって食害されることがしばしばあります。

なお，自然教育園にはクサガメのほか，ニホンイシガメ，ミシシッピアカミミガメ，スッポンなど数は少ないですが生息しています。

池で見られるクサガメ

池を泳いでいるクサガメ



甲羅干ししているクサガメ



人に近寄ってくるクサガメ



*東京都品川区, Shinagawa-ku, Tokyo

クサガメの産卵— 1 (7月2日)

武蔵野植物園の道路横で穴を掘っているクサガメ



15時35分頃からクサガメの産卵が始まる。



15時50分に6個の卵を産み産卵終了



産卵終了後穴を埋めている



翌日の7月3日9時半に昨日の産卵場所へ行くと掘り返され卵の殻が散乱していた。
おそらくタヌキに食害されたと推測される。



クサガメ産卵—2（7月8日）

武蔵野植物園 休憩広場奥で産卵始まる



1 個目の卵産卵



卵を 6 個産卵し、産卵終了。

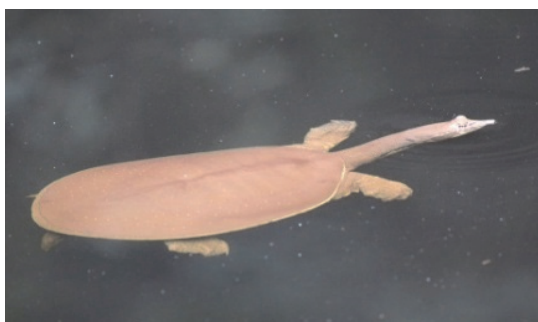


産卵終了後、穴を埋め始める



その他池で見られるカメ類

スッポン



謝 辞

この撮影記録をまとめるにあたり、ご指導いただいた矢野亮名誉研究員にお礼を申し上げます。